

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第7回定例会）議事録＞

日 時：2024年（令和6年）7月2日（火）19：00～21：30

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席者：12名

欠席者：2名（石塚委員、吉田委員）

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

1 連絡事項

1 連絡事項

- ・再生可能エネルギー利用促進計画の策定について（建築指導課）＜別途資料＞
異常気象など環境の変化が懸念される中で、地球温暖化対策として、本市は太陽光パネルの設置を促進させるための計画（建築物再生可能エネルギー利用促進計画）を作成中。

エネルギー消費量の約3割が建築部門。

温室効果ガス削減を目標とした建築物再生可能エネルギー利用促進計画は、原則、促進区域は市全域に及ぶが、江の島特別景観形成地区は、景観に影響を及ぼす恐れがあり、促進区域外。

資料7ページが一番伝えたいところで、建築主にとって太陽光パネルの設置は努力義務であり、建築物の設計を手掛ける建築士にとって促進計画や太陽光パネルの説明は義務。

太陽光パネルを設置する場合、建築基準法の規制により設置が困難となる場合があるが、許可要件（検討中）を満たせば、一部規制の緩和が可能。

戸建て住宅の場合、太陽光パネルの設置に加え、一定水準の省エネを達成した場合、国等の補助制度を活用することが可能。

郷土づくり推進会議委員から質問。建築指導課が回答。

①電力量全体でどのくらいなのか、そのうち再生可能エネルギーがどのくらいの割合を占めているのか、見えにくい。

⇒国の目標としては、日本全体の電力構成のうち、2020年時点での再生可能エネルギーは全体で20%であり、2030年までにその割合を36～38%にすることが目標とされ、エネルギー基本計画に謳われている。

②建築主の太陽光パネル設置が努力義務である理由は？太陽光パネル設置を普及したいのであれば、任意ではなく義務にすれば？

⇒工業地帯を有する川崎市や電力の大消費地である東京都等とは異なり、本市では一足飛びに義務にするのは難しい。設置促進の第一歩として努力義務の中で普及啓発しながら、太陽光パネルを知ってもらおう。

③メンテナンスや既存パネル撤去に対する補助金は？

⇒現状、当該メニューは用意されていない。現状の補助制度のターゲットは、主に戸建て住宅に対する補助という認識であり、太陽光発電設備の補助制度は、太陽光パネルの設置に対しての補助である。

今後、様々な意見をもとに国等を中心に検討されるものと推測している。

太陽光だけではなく、他の分野で省エネを進めていくことも検討。

ポテンシャルが高いものとして地中熱がある。ただし、現在のところ価格が高いため、将来的に技術革新等により、価格が安くなれば活用の幅が広がるものと推測している。

④公共施設の太陽光パネルの設置状況はどうか、また、ライフタウンは団地が多い。地区別に適した提案をしてほしい。

本市では、291の公共施設を管理しており、今後太陽光パネルを設置する場合、建物の耐用年数とパネルの耐用年数を考慮して施設管理することが必要。

(太陽光パネルの耐用年数20～30年)

共同住宅が多い当地区については、限られた敷地の中ですべての住戸の電力を太陽光パネルの自家消費で処理するのは難しいものと考えている。

共同住宅における再生可能エネルギー利用の今後の展望としては、オフサイトPPAという遠隔地での発電による自家消費型太陽光発電の方法もあると聞いており、環境省を中心に検討されているものと聞いている。

⑤廃棄物の削減による温室効果ガスの削減効果は？

⇒藤沢市地球温暖化対策実行計画によれば廃棄物の削減による効果0.08%程度に過ぎない。

2 前回の確認

令和6年度第6回定例会議事録(案)〈資料1〉

特に異議なし。

3 協議事項

- ・村岡地区の郷土づくり推進会議が実施している登下校の見守り

(滝ノ沢中学校長からの意見)

郷土づくり推進会議が見守りのための音頭をとり、他の団体(防犯協議会と青少年育成協力会など)と連携しながら、活動を検討することは問題ない。

11月頃、社会福祉協議会の事業で、小中学校の校長の意見交換会がある。

子どもサポート会議の事業でも、見守り活動を実施しており、連携して活動することを検討。

民間に委託している豊中市の事例を参考にするのも良いのでは。

P.T.A活動で「おはようボランティア」を実施している学校あり。

大庭小学校で、湘南大庭地区は「おはようボランティア」の人数が少ないという話が以前からあった。実施している内容は、「おはよう」の声掛けのみ。

スクールガードリーダーが警察から派遣されている。

危険個所の情報共有などを把握する活動団体「おおばっこ」と連携するのも、ひとつのやり方。

校長は、郷土づくり推進会議のように地域からの依頼に学校が協力していることもあり、地域も学校からの依頼に応え、互いにWINWINの関係にあることを期待しているのかも。

滝の沢中学校はPTAが存在しておらず、PTAがあるのは大庭小学校くらい。

かるたの事業を通して、郷土づくり推進会議として、地域の見守りを目指していきたい。

今後も、郷土づくり推進会議の議題として、継続して取り上げ検討していく。

4 各部会からの報告事項

(1) 子ども居場所づくり部会から〈資料2〉

「川ガキになろう！」イベント当日の役割分担について確認。(資料2参照)

リストバンドは使用せず、オレンジ色のビブスを危機管理課に貸出を依頼する。

チラシには、「協力：生活環境協議会」を表記。

現在のチラシに表記された申込期限が「7月31日(水)17時まで」であり、チラシの回覧の予定を考慮し、申込期限を「8月5日(月)17時まで」に変更。

(2) かるた部会から〈資料3〉

地区内7校の学校訪問記録を報告。(資料3参照)

(3) 距離表示部会から

ふるさとまつりのウォーキングイベントのチェックポイントに「のぼり」を立てたい。

「郷土づくり推進会議」と記した「のぼり」であれば、他の部会でも使用が可能。

今年度の予算の消耗品から捻出したい。

(4) 大庭城跡部会から

今後の活動予定を報告。(資料参照)

6月30日(日)に忍者アクト(団体)責任者(ナカジマ アヤ氏)と、今後の部会活動への協力を打診。

費用面に関して、ナカジマ氏の話によると、1人あたり1万円の合計5万円程あれば、手裏剣や殺陣、吹き矢が可能とのこと。

検討している事業から取捨選択し、実施する事業を決めたい。

ファンタジアを実施しても面白い。

第2回部会を、7月14日(日)午後1時30分から午後3時30分まで開催したい。会場は明日(7月3日)以降、施設予約の状況を確認の上、メール

により事務局から連絡。

大庭城址で年配者を皆で囲みながら、年配者の話を聞くのも面白い。

(5) ゴルフ部会から

応募状況は、昨日までの途中経過によれば10名。

応募者一覧表をメールで提供してほしい。

(6) デジタル推進部会から

募集開始日の午前中で定員に達した。

7月11日から講座が開催されるので、準備の補助をお願いしたい。

8時30分から会場設営をしたい。

事務局は開始日までに必要書類を印刷。

年度後半に実施するスマホ教室会場（小糸市民の家）を事前に現場視察した結果を報告。

設備状況等（駐車場）の報告。

(7) セカンドライフ部会から〈資料4・5〉

「セカンドライフ準備世代の趣味講座」の応募状況は、男性1名と女性5名の合計6名。

応募者数が想定よりも少ないため、募集期限までの状況を見守りたい。

応募者30人を見込み、6人を1グループとした5グループとすることを想定しており、参加者同士でLINEグループを作り、相互にコミュニケーションを図ってもらうことが目的。

5 その他

・湘南ライフタウン活性化指針

（事務局から）意見を提出してほしい。

・駐車場の有料化

（事務局から）1月中旬頃から駐車場を有料化する予定。

全市民センター揃って入札。

・部会のあり方

今後、個別で部会が実施できない場合は、定例会後に実施することを検討していきたい。

・ユニフォーム&ロゴタイプ制作について

次回以降の定例会にて取り上げる。

・市民の家にAEDがないのは問題

施設の利用者数等により、AEDの配架等の取扱が異なる。

以上